



**Domaine Dominique Lafon,  
Vire-Clesse 2008**  
ドメーヌ・ドミニク・ラフォン, ヴィレ・クレッセ

生産者 Dominique Lafon  
オペレーション ヴィレ・クレッセ

ドメーヌ・ドミニク・ラフォンは、ブルゴーニュのコート・ド・ボーヌ地区に本拠を構える歴史あるドメーヌとして有名なドメーヌ・コント・ラフォン(ムルソーではトップと言われているドメーヌのひとつ)の所有者であるドミニク・ラフォンが、2008年より自らの名前で出す新しいワインのひとつです。

AOC ヴィレ・クレッセとは、1998年のヴァンテージからブルゴーニュ地方、マコネ地区に新しくできた白ワインだけに認められた原産地呼称です。これを名乗るためには、Vire 村、Clesse 村、Laize 村、そして Montbellet 村(全体で約 220ha)から収穫されたブドウのみを使用しなければなりません。

(ブルゴーニュ地方は大きくわけて 6 地区、北からシャブリ、コート・ド・ニュイ、コート・ド・ボーヌ、コート・シャロネーズ、マコネ、そしてボジョレー地区となります)

このワインは最高の立地条件のもと樹齢 70 年以上の古樹から収穫されたブドウを購入し、それをドミニク・ラフォンが醸造しています。コント・ラフォンの所有畑のブドウからではなくともトップ生産者のゆえの醸造方法により上質な仕上がりをお手頃な価格で味わって頂けるコストパフォーマンスに優れたワインかと考えます。またリリースされたばかり、まだお求めになりにくい希少性のあるワインかと考えます。

味わいは、レモンやライムなどの柑橘系果実、洋なし、ほのかにライチなどのトロピカルフルーツなども思わせます。とても爽快なフレッシュな酸とミネラル感のバランスがよく、大変コストパフォーマンスに優れたワインであると考えます。

\*\*コント・ラフォンについて:

ジュール・ラフォン(Jules Joseph Barthelemy Lafon)によって創業され、のちに彼の息子である Rene Lafon が 1956 年からこのドメーヌを引き継ぎ、そして現在は Rene Lafon の息子であるドミニク・ラフォンによって 1984 年から運営されています。世界が認めるトップドメーヌのひとつです。(希少なグラン・クリュ畑であるモンラッシェにも畑を所有しています。)

また現在ではビオディナミ農法を行っているドメーヌのひとつとしても非常に有名です。